

# ひら 若い世代で拓く 輝くまちづくり



☎ シティプロモーション推進課 ☎ 65-1251

若い世代が活躍しているのを見聞きすると温かい気持ちになったり、勇気づけられたりしませんか？私たちのまち「新居浜」でも多くの若い世代が活躍し、輝きを放っています。今回は、まちづくり、まちおこしにつながる活動に頑張っている若い世代を紹介します。

## 地域と共に野菜をつくり 共に未来をつくる 別子中学校



## 野菜を育てることで 地域を元気にしたい！

別子中学校では、別子山地域を元気にするために地域と協働する活動に力を入れています。特に、3年前から「別子ファーム」と名付けた農園では、「地域と共に野菜をつくり、ともに未来をつくる」というスローガンを掲げ、さまざまな野菜づくりに挑戦しています。

地域の人たちからは野菜を育てる知恵を、生徒たちは体力とアイデアを出すという互いの強みを生かした交流を深めながら別子ファームの畑で大根、白菜、キャベツなどさまざまな種類の野菜を栽培し、地域のにぎわいを作り出そうと積極的に活動しています。

別子ファームで作られた野菜は、11月にマイントピア別子において2日間の期間限定で販売されました。地域の魅力を伝えようとする生徒たちのアイデア満載の販売会は多くの来場者でにぎわいました。生徒たちは、「野菜販売をすることによって別子山地域と販売会場に来場したお客様をつなげたい」「別子ファームで野菜を育てることで地域の人たちと私たち中学生がつながるだけでなく、新居浜の皆さん、それ以外の地域の皆さんともつながっていききたい」と話します。

地域の人たちと共に実現させてきた別子ファームの活動は、別子山地域の『応援者』を一人でも増やし、最後には地域活性化の『協力者』になってもらうきっかけとなることを目指しています。

別子山地域を元気にするために、これからも笑顔の交流は続いていきます。



## 別子銅山を学んで 「誇り」を広めて

新居浜南高等学校では、「新居浜、大好き」を合言葉に、新居浜の礎となった別子銅山の歴史や銅山を切り開いてきた先人たちの思いを学び、本市の誇れる観光資源である別子銅山産業遺産群の魅力を市内外に広めていくことで、住民の郷土愛などシビックプライドを高め、まちに活気をもたらそうと活動を行っています。

活動の中心は、市内小中学校への出前講座と観光客などへのガイドやツアー。先輩たちから受け継いできた活動は24年続いており、南高校の伝統となっています。

生徒たちは、「自分たちの活動によってまちに誇りを感じてもらい、定住と戻ってきたいまちをつくりたい」「別子銅山を核とした観光で活性化するまちにしたい。観光が活性化することで多くの産業が盛り上がると思う」と話します。また、高校再編の問題を口にした生徒は「自分たちが積極的に活動を続けていくことで、母校が再編の対象にならないよう伝統をつないでいければいいと思う」とまちの活性化と共に学校の伝統も守っていきたいと胸の内を語りました。

また、11月に本市で開催された第58回愛媛県小中学校長会研究大会では、先生と共に自分たちのこれまでの活動や今の思いを発表し、大きな舞台で県内に広く活動を広めました。

別子銅山の歴史を学び、広めていくことで新居浜のファンを増やしていく活動は続いていきます。

## まちの誇り 別子銅山の歴史を学び伝える 新居浜南高等学校





まちに活力を  
特産品（白いも）を活用した  
まちおこし  
新居浜商業高等学校



商業高校の  
生徒の皆さん



新商マルシェ  
開店します！



大島で  
白いもの苗植え

## 地域の特産品を活用した 「食」でのまちおこし

新居浜商業高等学校では、白いもの生産地である大島の急激な人口減少や白いもの農業経営者の高齢化など大島地域の課題解決に向けて何ができるのか市内の販売店や関係者と情報交換や活動を行い、白いものを活用したロールケーキやマリトッツォなどのスイーツの開発、販売を実現させ、「食」でのまちおこしを行っています。

開発したスイーツは、月1回程度のペースで生徒たちが開催する「新商マルシェ」という販売会などで売られています。また、今では人気商品となりインターネットでの販売を開始するなど、その活躍の場を広げ、白いもの魅力を市内外に発信しています。

生徒たちは声をそろえてマルシェの活動で自分たちに関わってくれた人たちへの感謝を述べ、「マルシェを通していろいろな人たちと交流できたことで学生や大人とか関係なく新居浜市が一丸となって頑張っていることを感じる事ができた。これからも私たちの住むまちを元気にするために市全体を巻き込んで一丸となって頑張っていきたい」「先輩たちから受け継いだ活動を後輩へつないでいかないといけないと強く感じている。マルシェの活動は、商業の伝統で誇りです」「地域の人たちとの交流は楽しく、活動はやりがいがある。喜んでくれることは本当にうれしい体験だった」と話します。

新居浜を多くの人に知ってもらい、訪れる人や住んでくれる人が増えてほしいと、生徒たちの中で伝統となった活動は続いています。

# TURE-TECH（ツレテク）の成果 課題解決へ向けた提案事業 市外からの若者たち

「TURE-TECH（ツレテク）」とは？

ソフトバンク(株)との協働事業で、地方創生に関心のある学生たちが、市の抱える課題に対して解決策を提案し、評価された案は課題解決に向けて実際に事業化されるといふもの。

## 星空観察イベント

「山の中の観察隊～星空とともに～」

## ・ 山の中の映画館

「家族の思い出を作ろう♪」



星空観察イベントと山の中の映画館は、観光施設であるマイントピア別子への利用客やリピーターの増加策として、これまで活用されていなかった夜間・閑散期でも実施可能なイベントとして提案され、実現したものです。それぞれ、山の中の理想郷というマイントピアの強みを生かし、望遠鏡の組み立てやランタン作りという動学的な遊びもプラスしたイベントです。

星空観察イベントは8月6日に、山の中の映画館は11月13日に開催されました。



## プチモニアンケート

「30秒で参加できるまちづくり」



若年層の声を市政へ届ける策として、皆さんがスマホで手軽にアンケートに答える仕組みが提案され、実現したものです。9月1日にスタートし、QRを記載したポスターやパネルがイベント会場などに設置され、各種アンケートが実施されています。



プチモニアンケート  
はこちら →



## 国際子ども平和賞受賞

「プチモニアンケート」の提案に携わった大阪府在住の高校生・川崎レナさんが、11月14日、オランダに本部を置く「キッズライツ財団」の2022年「国際子ども平和賞」を受賞（日本人の受賞は初）。川崎さんがテーマとしたのは「若者の参加する権利」ということで、「プチモニアンケート」は、若者の声を行政の意思決定に反映させるシステムとして、彼女の実績の一つに挙げられています。



## まちづくりを一緒に

中高生、大学生の取り組みによって、新たな活気があちらこちらに生まれています。若い世代の感性を取り入れることは、これからのまちづくりにとって必要です。笑顔いっぱい頑張っている学生の皆さん、これからもいろいろなことに挑戦してください。魅力あふれる、住み続けたいまち新居浜を一緒につくっていきましょう。